

みんなで作るネット社会

～やっていいこと・悪いことの境界線～



現在のデジタル化社会では、インターネットや様々なスマホアプリ等、便利なものがたくさんあります。その自由度の高さから、**安易な利用**が招く**危険な事例**も起きています。このような状況の中で、正しくかつ安全に活用するためには、**情報活用能力**を高め、**適切な判断力**を身につけることがとても重要です。自分の安全を守り、他者を尊重しながら、より良い**デジタルコミュニティ**を作っていきます。

やっていいこと（こう使おう！）

ゲームアプリ

- ・友達と協力したり、助け合ったりしながら楽しく遊ぶ

悪いこと（これはダメ！）

- ・他のプレイヤーへの**暴言**、**嫌がらせ**
- ・自分では支払えない金額の**課金**

注意をすること

- ・ゲームに集中し過ぎて、**勉強**や**睡眠**がおろそかになったり、**目が悪く**なったりします。
- ・ゲームの中でも**言葉遣い**は大切です。みんなが気持ちよく遊べるようにしましょう。

写真・動画加工アプリ

- ・自分の**写真**を加工
- ・ルールを守って**作品**を作る

- ・人の**写真**を勝手に加工
- ・**ウソ**の写真や動画を作成
- ・写真等を**許可なし**にSNSに投稿

- ・加工した写真とはいえ、人の写真を**許可なし**にSNSに投稿すると肖像権の侵害となります。
- ・便利で面白いだけではなく、悪質な加工等により人を**傷つけるかもしれない**と考えよう。

位置情報アプリ

- ・**災害時**の家族の居場所を確認
- ・友人と**一時的**（遊ぶなど）に現在地共有
- ・**忘れ物防止**タグと連携して、位置特定

- ・家族、友人などの位置情報を**許可なし**に追跡
- ・友人の位置情報を他の人に伝える
- ・人の端末に**勝手に**位置情報アプリをいれる

- ・どこまでが安心できる「**見守り**」で、どこからが嫌な「**監視**」になるのかきちんと決めることが大切です。
- ・相手に強制的にアプリをいれることを求めてしまい、「**やめたいと言出しにくい雰囲気**」や「**常に見張られている気持ち**」になるなど、プライバシーを尊重し合える関係性がなくなってしまうようにしよう。

良いこと・悪いことの境界線を考えるために

- ✓ アプリ使用する前に、使用する相手とルールや約束を決めよう
- ✓ 自分の「楽しい」「嬉しい」が相手も同じ気持ちか考えよう
- ✓ トラブルになる前に「なんか変だな」と思ったらすぐに立ち止まろう
- ✓ 一人で悩まずに、信頼できる大人にすぐに相談しよう

